

令和2年度（2020年度）特別支援教育総合推進事業 第2回留萌教育局管内特別支援連携協議会の概要

令和3年2月10日（水）、第2回留萌教育局管内特別支援連携協議会を開催しました。本協議会は、新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、集合とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施し、各関係機関から6名の構成員が出席しました。会議では、今年度の重点に関する協議を行い、取組の成果等について共有するとともに、次年度の方向性を確認しましたので、その概要をお知らせします。



【協議会の様子】

重点① 「一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育の推進」

重点② 「『個別の教育支援計画』等の活用による早期からの切れ目のない一貫した指導や支援の充実」

【令和2年度の重点に関する各学校の現状及び教育局の取組】（○成果 ▲課題）

報
告

【各学校の状況】

- 全ての学校で道教委の資料等を活用した特別支援教育に関する校内研修を実施
 - ▲保護者への説明及び教職員が連携した支援など、検討機会の設定
 - ▲関係機関や部局と連携した研修の推進
- 【教育局の取組】
- 保健・福祉部局と合同で、特別支援教育の支援体制づくり等に関する研修を実施
 - ▲障がいの特性に応じた支援の充実を図る研修の実施など、教員の専門性向上に向けた指導助言

【各学校の状況】

- 特別支援学級及び通級に在籍する全ての子どもに「個別の教育支援計画」を作成
 - ▲通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どもの「個別の教育支援計画」への合理的配慮に係る内容の明記
- 【教育局の取組】
- 巡回相談において、「個別の教育支援計画」の効果的・効率的な活用について指導助言
 - ▲専門家チーム員の指導助言の質の向上及び複数のチーム員による指導助言の実施

協
議

【令和2年度の重点に関する取組の成果と課題（各構成員から）】（○成果 ▲課題）

- 特別支援教育コーディネーターを講師とした全教員による年3回の校内研修や、特別支援学級の積極的な授業公開の実施など、組織的な取組の充実
- 各関係機関が連携した定期的な情報共有の場の設定及び専門性向上に向けた研修会の実施
- ▲全教員の専門性の一層の向上に向け、専門家を講師に招聘するなどした研修の実施や、校内研修プログラム等を活用した体験的な研修の実施など、校内研修の更なる充実

- パートナー・ティーチャー派遣事業を活用した「個別の教育支援計画」の作成・活用に係る指導助言
- 各関係機関との連携を図ったきめ細かな就労支援の工夫
- 効果的な指導や支援について保護者と検討する場を定期的に設定するとともに、短いスパンで生徒の実態に応じた指導や支援の見直し及び改善
- ▲進級・進学の際の引継ぎの際の更なる活用に向けた体制整備の構築

◆ 矢口委員（名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科准教授）によるまとめ ◆

キーワード① 「校内研修の充実」

教員1人1人の専門性の向上に向けて、全教員の参加による組織的な校内研修の充実がポイントです。

- ・特別支援教育に係る検証改善サイクルの確立（学校評価や特別支援教育に係る各種調査結果の活用）
- ・巡回相談及びパートナー・ティーチャー派遣事業の指導助言について全教員で共有する機会の設定
- ・専門性の高い人材を活用した校内研修の実施（専門家チーム員やパートナー・ティーチャーの活用）

キーワード② 「切れ目のない支援」

就学・進級・進学などの節目において、子どもが安心感をもって次のステージに移行できるようにすることがポイントです。

- ・地域の実情に応じた取組の充実（異校種間の連携及び教育支援委員会との連携）
- ・「個別の教育支援計画」等の活用の一層の充実（引継ぎや異校種間交流において、早期からの支援の状況や各関係機関とのつながりを時系列で把握）

次
年
度
の
方
向
性